

令和6年度 介護労働懇談会の開催 埼玉支部

開催日時:12月 4日(水) 13:30 ~16:00

テーマ・議題

①「人材確保について～取組の一手法について～」

- ・埼玉県介護人材確保総合推進事業の活用
- ・スポットワークを活用した新たな採用方法とは

②資料提供団体様からのご案内等

主な参加機関

埼玉労働局職業安定部、大宮公共職業安定所、埼玉県福祉部高齢者福祉課、さいたま市福祉局長寿応援部介護保険課、埼玉県介護老人保健施設会、(株)パソナライフケア、(株)USEN WORKING他



< 討議内容 >

- ・「SAITAMA KAIGO NEXT」求職者ができること、事業所が利用できること
地図から介護施設を選択出来、求人情報を確認出来る。
直接連絡orコーディネーターを活用し、インターンシップ(職場体験)の申し込みが可能。
研修等で他事業所の方との交流会等も実施。介護助手人材採用も行っている。
インターンシップの利用は30代～50代までと年齢層が広く、求職者・事業所共に好評を得ている。
地域との連携については、自治体などと協力し、ポスター掲示や公民館にリーフを置くなどを実施。
- ・スポットワークの求職者・事業者へのメリット
スキマ時間で稼げる、1日だけの勤務OK、面接・登録会なし、最短即日入金
多様な経験による技術向上 ノンコア業務・コア業務×事業形態
お試し転職で相性を確認し、単発業務からリピートすることで双方納得で採用・入職
介護のプロ人材を必要ときに・・・勤務時間や保有資格の設定が自由に可能
人材紹介と比較しても安価、余剰コストを教育にまわすことで好循環サイクル

参加団体からのお知らせ・状況報告等

- ・埼玉労働局職業安定課・・・県内4つのハローワークに福祉専門の人材確保・就職支援コーナーを設置
- ・埼玉労働局職業訓練課・・・職業訓練実施状況についてご報告
- ・その他機関紙の案内、役員改正の案内等

事務局からのコメント

- ・令和5年度労働実態調査より、法人の理念など質的な情報を丁寧に求職者に伝えることが必要である。
- ・東京大学佐藤博樹名誉教授のコメントとして、介護現場での人員不足は人間関係・ハラスメント等があり、職員への繰り返しの丁寧な説明・研修が大切である。